

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和３年度 第５回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和４年１月１２日（水） １９：００～２０：００
開 催 場 所	オンライン開催
議 題	１ 退院支援・医療介護連携部会より ２ 在宅医療コーディネーター部会より ３ 多職種連携部会より ４ ICT 部会より ５ 高松市在宅医療支援センターの報告 ６ その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出席委員	１９人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、橋本委員、花房委員、片山委員、北代委員、田中（昌）委員、田中（邦）委員、辻委員、中村委員、永岡委員、林委員、井上委員、古川委員、松本委員、三橋委員、三宅委員、和田委員
関係者	市医師会事務局（５人） その他：医師会（伊藤会長、和田副会長、香西理事、西口理事、綾田理事）
傍 聴 者	０人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 ８３９－２３４６ 在宅医療支援センター ８３９－２３４４ 介護保険課 ８３９－２３２６ 地域包括支援センター ８３９－２８１１ 保健医療政策課 ８３９－３８０５

協議経過及び協議結果

１ 退院支援・医療介護連携部会より

Q 委員より説明

- ・第４回部会：１１月１２日に開催、検討内容：第２回目のミーティングに関すること。
- ・香川県医務国保課より高松市入退院支援ルールに関するデータ提供を依頼され、医師会より提供

(１)令和３年度第２回医療介護連携ミーティングについて(報告)

- ・日時、場所：１２月４日(土) １４：３０～１７：３０ 高松市医師会館５階ホール 参加者数：１５１名
- ・開催方法：ハイブリッド形式(会場参集及びオンライン参加) Zoom ミーティング
- ・テーマ：「入退院支援ルール及び入退院情報共有シートを活用した効果的な連携とは」
- ・内容：○パネルディスカッション

パネリスト①医師②薬剤師③施設職員④訪問看護師⑤介護支援専門員⑥地域医療連携室

※②③④のパネリストが発表し、それに対する討議を会場及びオンラインとで実施した。

発表のテーマ

- ②在宅医療への取り組みと今後の課題
- ③施設における入退院情報連携シート活用の提案
- ④がん患者の在宅療養への支援 訪問看護師の立場から

A 委員より意見

今回のミーティングは、次年度の早い段階で開催し、診療報酬の改定等などについても説明を希望

2 在宅医療コーディネーター部会より

C 委員より説明

- ・第2回、3回在宅医療コーディネーター養成研修（11/30、12/14）の報告
- ・第2回スキルアップ研修（11/14）の報告

A 委員より意見

毎回充実した研修で、コロナ禍でもコーディネーターを養成している。優秀なコーディネーターに働いてもらうために、来年度も継続していきたい

3 多職種連携部会より

B 委員より説明

- ・市政出前ふれあいトークのパワーポイント：委員からの意見をもとに、年度内にまとめる
- ・今年度の多職種連携研修会の内容等について検討中
日時：2月11日(金)午後 ハイブリッド形式(会場参集及びオンライン)
内容：①高松市の取り組み ②特別講演：紅谷先生 ③グループワーク
- ・紅谷先生の講演に参加いただきたい。また、高知市でも同様のオンライン研修開催予定

4 ICT 部会より

事務局より説明

在宅ケア便利ナビ：更新45件、新規12件、訪看・ケアマネタイムの更新：42件

A 委員より意見

それぞれの職能団体で、情報サイト等の周知啓発をしてほしい

5 高松市在宅医療支援センターより

在宅医療支援センターより、11月・12月の活動報告

【相談件数】11月：18件、12月：10件 【相談事例の紹介】11月、12月の相談事例を紹介

6 その他

- ・第3回在宅医療介護連携推進会議報告書
- ・地域包括支援センターの担当エリア変更等について説明

3月1日～仏生山交流センターの開設により、サブセンター一宮が移転後閉鎖し、サブセンター仏生山へ変更。山田エリアの林・三谷・仏生山・多肥の4地区が加わり計8地区担当。山田エリアは、前田・川添・川島・十河・西植田・東植田の計6地区担当となる。広報高松2月号で周知予定

○次回の会議日程 令和4年3月9日(水)19:00～ 高松市医師会